

Hamamatsu Museum of Musical Instruments

浜松市楽器博物館だより

No. 46

2007. 1. 10

平成19年



企画展「ピアノ大解剖」 閉幕 第6回浜松国際ピアノコンクール関連企画

第6回浜松国際ピアノコンクール(11/12~27)の関連事業として、楽器博物館では10月22日(日)から12月17日(日)まで、企画展「ピアノ大解剖」を開催しました。

私たちにとって、最も身近な楽器のひとつであるピアノ。しかし、詳しい仕組みとなると、あまり知られていません。ピアノは鍵盤を押すと簡単に音が出ますが、1つの音を出す為に約60個の部品が動いています。そして、ピアノ全体でその音を響かせたり、変化させたりしています。グランドピアノ1台分の部品数は、約8000個！この企画展では、ピアノの「いつもは見えないところ」にスポットをあて、ピアノの内部を中心に紹介しました。

会場はアップライトピアノ大解剖・グランドピアノの作り方・調律師のカバンの中身・ピアノの教材・体験コーナー・レファレンスコーナーからなり、ピアノを様々な視点から展示しました。

中でも人気があったものは、体験コーナーの音の体重計。ピアノの弦の張力を調べて、人間の体重を測るものです。体重が重い人ほど弦が強くと張られる為、音が高くなり、逆に、体重の軽い人ほど音が低くなるしくみです。出てくる音の違いに笑いの絶えないコーナーとなりました。また、1日2回程行わ

れた自動ピアノのデモンストレーションでは、最新のテクノロジーを兼ね備えたピアノに、来館者から感嘆の声が漏れていました。オーケストラの楽器と共演の気分が味わえたり、音量を自由に設定したりできる(消すこともできる)このピアノを通して、ピアノの未来に思いを馳せていたようです。

会期中は、普段なかなか目にするのでできないピアノの内部や製作風景に、驚いたり、感心したり、じっくりと見入ったりする来館者の姿がありました。いつもは見えないピアノの部品や素材を見ることで、製作や調律にあたる職人の情熱やピアノに対する愛情を感じていただけたのではないかと思います。また、ピアノコンクールの出場者やお客様も来館され、「ピアノの音を聴く時のイメージが広がった」等の感想もいただきました。

ピアノ製作に携わる職人、演奏者、愛好家の方など、ピアノに関わる人々のいろいろな想いを感じることができた企画展となりました。

展示協力：アポロ調律芸術院、株式会社イトーシン
ミュージック、株式会社河合楽器製作所、
東洋ピアノ株式会社、ヤマハ株式会社
(50音順、敬称略)

モーツァルトレクチャーコンサート

浜松国際ピアノコンクール開催記念

コンクールの合間の11月20日(月)午後3時から中ホールにて、海老沢敏、平野昭、ロバート・レヴィン3氏によるレクチャーコンサートがピアノコンクール事業のひとつとして行われました。楽器博物館所蔵のアントン・ワルター&サン製作のフォルテピアノ(1810年頃ウィーン)を用い、フォルテピアノ奏者としても著名なハーバード大学教授レヴィン氏の解説と演奏で、現代ピアノと比較しながら、ベートーヴェンの「悲愴」の冒頭や、ソナタ変ホ長調、モーツァルトのソナタへ長調K.533を紹介。現代ピアノには表現不可能なフォルテピアノの響きの特質と音楽作品との関係が興味深く実演されました。



ミュージアムコンサート「スウェーデンの心~ニッケルハルパとともに~」



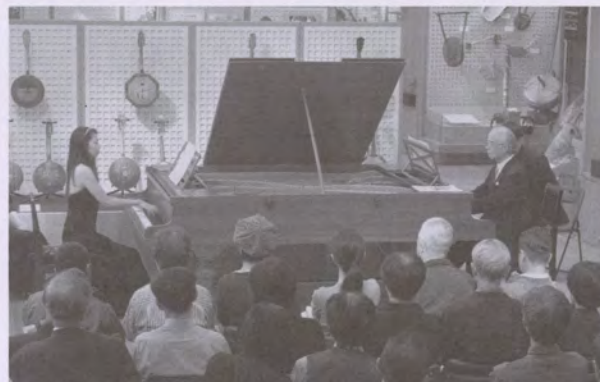
日時:平成18年10月1日(日)14:00
会場:アクトシティ浜松音楽工房ホール
出演:ラーナリム 入場者:138名

スウェーデンに古くから伝わる楽器"ニッケルハルパ"のコンサートを開催しました。この楽器は、ヴァイオリンのように弦を弓でこすり、鍵盤を押さえて音高を変えます。4本のメロディー弦の他、10数本の共鳴弦がささやかに響きます。今回、スウェーデンから来日した人気グループ"ラーナリム"が、ギター、ドラム、2人のヴォーカルを加えた5人編成で、伝統曲「5月へようこそ」などを披露し、ステージを盛り上げました。素朴なニッケルハルパの音色は、女性の歌声に見事に溶け合い、会場に余韻を残しました。

イブニングトーク&コンサート「フォルテピアノとデュオピアノ」

日時:平成18年11月14日(火)18:30
会場:楽器博物館展示室
演奏:小林道夫、山上華子(デュオピアノ)
入場者:39名

日本を代表するピアノ奏者である小林道夫氏をお招きし、前半はモーツァルトやシューベルトの名曲を、G.アントニオとC.グラーフによる19世紀のフォルテピアノを用いて演奏しました。なんとも温かくまろやかな音色に、会場からはため息が漏れるほどでした。後半は小林氏と山上氏によるデュエット。1台に2台分のピアノの機能を持つ、1925年製I.J.プレイエルのデュオピアノを用い、お2人の息の合った演奏を楽しみました。秋の夜長に心温まるコンサートとなりました。



レクチャーコンサート「フルートで巡るサロンの歴史」



日時:平成18年12月17日(日)14:00
会場:アクトシティ浜松音楽工房ホール
演奏:有田正広(フルート)、有田千代子(チェンバロ)
入場者:179名

18~19世紀にイタリア、ドイツの宮廷を中心に文学・演劇・美術・音楽などあらゆる芸術を話題とし、時の文化を形作った「サロン」。このコンサートでは楽器博物館所蔵のフライヤー作クヴァンツ型フルートと、パリのF.E.ブランシェI世作の2段鍵盤チェンバロを囲んで、約200人のお客様がバロック音楽と当時のサロン文化についてのお話を楽しみました。フルートの世界的名手である有田正広さんと、チェンバロ奏者の有田千代子さんによる息の合った演奏で、古楽器のすばらしい音色が会場内に響き渡りました。

講座「19世紀のピアノと社会」～ピアノ協奏曲にみる音楽文化の諸相～

- 第1回 「ピアノ協奏曲の室内乐的性格」
 第2回 「シューマン夫妻と近代のピアノ協奏曲」
 第3回 「ブラームスの協奏曲に見る、鳴り響く博物館としての音楽作品」

日 時：平成18年10月18日(水)、10月25日(水)、
 11月1日(水) 各回18:45

会 場：楽器博物館展示室

講 師：小岩信治(静岡文化芸術大学講師)

参加者：計105名

全3回にわたり、モーツァルト、シューマン、ブラームスのピアノ協奏曲をとりあげ、その変遷をたどりました。各作品が生まれた当時のピアノの構造は、現代ピアノとは大きく異なるものでした。聴衆の態度や会場の様子など、音楽シーンも時代を経て変わってきました。そうした文化的背景は作品にも大きく影響を与えています。時代と共に変遷し、今なお私たちを楽しませてくれる音楽。その豊かさを再認識し、新たな楽しみ方を広げてくれる内容となりました。



講座「楽器の中の聖と俗」

- 第36回 社会現象“よさこい祭り”
 第37回 風が作り出す音文化



日 時：平成18年10月21日(土)、
 12月16日(土) 各回14:00

会 場：アクトシティ浜松研修交流センター

講 師：西岡信雄(大阪音楽大学教授、楽器博物館名誉館長)

参加者：計64名

楽器を通して各地の音楽文化を探る、毎年恒例の講座です。第36回は、独創的な衣装と振り付けで群舞を競う“よさこい祭り”をテーマにお贈りしました。この祭りは、全国各地から参加チームが集結し、現在220ヶ所にも及ぶ地域で開催されています。講座では、“鳴子”を手に持ち、リズムを取りながらエネルギッシュな踊りを競い合う様子を紹介しました。続く第37回は、「風が作り出す音文化」。自然が生み出す風の力を利用し、人間が知恵と工夫をこらして作った様々な楽器を紹介しました。ポイントを絞った興味深いお話に、みなさん真剣に耳を傾けていました。

「ジェンベ」ワークショップ

日 時：平成18年11月4日(土)
 Aコース 13:15、Bコース 15:00

会 場：アクトシティ浜松研修交流センター

講 師：寺崎卓也(ジェンベ演奏家)

参加者：計19名

西アフリカの伝統的な太鼓ジェンベは、独特の奏法で音を使い分け、様々に組み合わせるリズムを刻みます。その迫力ある大胆な演奏は、人々を魅了してやみません。正確にリズムを刻みながら音を使い分けるのは、手の運びも複雑で至難の業。受講者は、寺崎卓也氏の丁寧なご指導のもと、ひとつひとつ、しっかりとリズムを掴んでいきました。おぼつかない手つきは、いつしか力強くアフリカのリズムを刻み、会場では、複雑に絡み合うリズムを楽しみながら、ジェンベを叩く姿が見られました。



「バリ・ガムラン」ワークショップ

日 時：平成18年11月11日(土)
 Aコース 17:15、Bコース 19:30

会 場：楽器博物館展示室

講 師：皆川厚一(神田外語大学講師)

参加者：計30名

インドネシア・バリ島の青銅打楽器、ガムランの演奏体験ワークショップを開催しました。バリ島のガムランはテンポの速い華やかな響きが特徴です。ワークショップでは、皆川厚一氏ご指導のもと、バリ島の子ども達が最初に習う曲「ギラッ(Gilak)」に挑戦しました。楽譜は使わず、先生の音を見て聴いてまねをしながら音を探ります。展示室が華やかな響きに包まれ、参加者から笑顔がこぼれました。



博物館コレクションシリーズ新CD発売

11月中旬に、1830年パリ・プレイエル製のピアノによるCD 2種 (No.9,10) を発売しました。プレイエルのピアノは、ショパンが生涯愛したピアノとして有名で、その透き通るような音色は大変美しいものです。No.9にはショパンのピアノ協奏曲第1番室内楽版とピアノトリオ他を収録。静岡文化芸術大学との協同企画による録音で、当時のオリジナルピアノを用いたピアノ協奏曲室内楽版の録音としてはおそらく世界初。No.10はソロ作品のアルバムで、ショパンやフィールドのノクターン、プレイエ

ルのソナタ他を収録。楽器博物館価格はどちらも税込2,200円。ミュージアムショップで販売。



◆これからの催し物

- **ギャラリートーク 毎日曜日**
展示室ガイドツアー 展示品の解説
ミニコンサート 職員やゲストによる演奏
※内容・時間はお問い合わせ下さい。
- **展示品の演奏デモンストレーション 毎日 10:00～16:00**
1時間毎 チェンバロや19世紀のピアノなどのデモ演奏
- **特別レクチャーコンサート**
「ベートーヴェンのアンサンブル」
1/13 (土) 14:00 アクトシティ浜松音楽工房ホール
演奏: 小倉貴久子 (フォルテピアノ)、桐山建志 (ヴァイオリン) ほか
- **レクチャーコンサート**
「ノルウェーのきらめき～ハルダンゲル・フィドル～」
2/4 (日) 14:00 アクトシティ浜松音楽工房ホール
演奏: 山瀬理桜 (ハルダンゲル・フィドル&ヴァイオリン) ほか
- **ミュージアムコンサート**
「ラウネッタスの祭り～イタリア・サルデーニャ島の歌と楽器～」
3/19 (月) 18:30 アクトシティ浜松音楽工房ホール
演奏: サルデーニャ島民俗音楽団 “アトビオス”
- **講座「楽器の中の聖と俗」第38回「太鼓の中の“聖”と“俗”」**
1/20 (土) 14:00 アクトシティ浜松研修交流センター
講師: 西岡信雄 (大阪音楽大学教授)
- **世界の楽器体験ワークショップ**
「チャンゴ」
1/21 (日) 入門編 Aコース 13:00、Bコース 15:00
1/28 (日) 中級編 13:00
講師: イ・チャンソプ (サムルノリ演奏家)
「ジャワ・ガムラン」
2/10 (土) Aコース 17:15、Bコース 19:30
講師: 中川真 (大阪市立大学大学院教授)
「長唄三味線」
2/25 (日) Aコース 13:00、Bコース 15:00
講師: 松永鉄九郎

- 10/18 (水) 講座「19世紀のピアノと社会」第1回「ピアノ協奏曲の室内楽的性格」
18:45 楽器博物館展示室
講師: 小岩信治 (静岡文化芸術大学講師) 入場者35名
- 10/21 (土) 講座「楽器の中の聖と俗」第36回「社会現象“よさこい祭り”」
14:00 アクトシティ浜松研修交流センター52研修交流室
講師: 西岡信雄 (大阪音楽大学教授) 入場者37名
- 10/22 (日)～12/17 (日)
企画展「ピアノ大解剖」 入場者14,243名
- 10/25 (水) 講座「19世紀のピアノと社会」
第2回「シューマン夫妻と近代のピアノ協奏曲」
18:45 楽器博物館展示室
講師: 小岩信治 (静岡文化芸術大学講師) 入場者35名
- 10/26 (木)～10/28 (土)
移動楽器博物館 (浜松市立北浜東小学校)
- 11/1 (水) 講座「19世紀のピアノと社会」
第3回「ブラームスの協奏曲に見る、鳴り響く博物館としての音楽作品」
18:45 楽器博物館展示室
講師: 小岩信治 (静岡文化芸術大学講師) 入場者35名
- 11/3 (金) 文化の日による無料開放 入場者1,351名
- 11/4 (土) 世界の楽器体験ワークショップ「ジエンベ」
Aコース 13:15、Bコース 15:00
講師: 寺崎卓也 (ジエンベ演奏家) 参加者計19名
- 11/11 (土) 世界の楽器体験ワークショップ「バリ・ガムラン」
Aコース 17:15、Bコース 19:30 参加者計30名
- 11/14 (火) イブニングトーク&コンサート「フォルテピアノとデュオピアノ」
18:30 楽器博物館展示室
演奏: 小林道夫、山上華子 入場者39名
- 12/16 (土) 講座「楽器の中の聖と俗」第37回「風が作り出す音文化」
14:00 アクトシティ浜松研修交流センター401会議室
講師: 西岡信雄 (大阪音楽大学教授) 入場者27名
- 12/17 (日) レクチャーコンサート「フルートで巡るサロンの歴史」
14:00 アクトシティ浜松音楽工房ホール
演奏: 有田正広 (フルート)、有田千代子 (チェンバロ)
入場者179名

◆博物館日誌

- 10/1 (日) ミュージアムコンサート
「スウェーデンの心 ～ニッケルハルパとともに～」
14:00 アクトシティ浜松音楽工房ホール
演奏: ラーナリム 入場者138名
- 10/2 (月)～10/5 (木)
移動楽器博物館 (浜松市立北浜南小学校)
- 10/16 (月)～10/19 (木)
移動楽器博物館 (浜松市立遠州浜小学校)

◆9月～11月の観覧者数

	9月	10月	11月	3ヶ月の合計	開館からの累計
大人	5,188	6,939	7,033	19,160	748,678
中人	68	109	205	382	30,616
小人	841	1,998	1,561	4,400	169,764
幼児	308	171	292	771	45,364
計	6,405	9,217	9,091	24,713	994,422

利 用 案 内

開館時間: 午前9:30～午後5:00
休館日: 毎月第2水曜日 (祝日の時は翌日)、年末年始、その他施設点検等のための臨時休館日
常設展観覧料: 個人 団体 (20人以上) 団体 (80人以上)
大人 (大学生以上) 400円 320円 240円
中人 (高校生) 200円 160円 120円
※中学生以下、高齢者 (70歳以上)、障害者の常設展入館料は無料です。

浜松市楽器博物館日より

平成19年1月10日発行 No.46
編集 浜松市楽器博物館
〒430-7790 静岡県浜松市中央3-9-1
TEL. 053-451-1128
FAX. 053-451-1129
URL: <http://www.gakkihaku.jp>
MAIL: wakuwaku@gakkihaku.jp
印刷 株式会社シバプリント